

# 第 137 回 東北連合 産科婦人科学会

## 総会・学術講演会

平成 26 年 6 月 14、15 日に福島市の福島ビューホテルにて、会津中央総合病院 院長 武市和之学会長の下開催されました。福島県内の先生方、東北 5 大学のみなさまの御尽力により、大きなトラブルもなく無事に終了いたしました。

今回の学会は当講座が事務局となり開催したため、特別講演、招請講演、教育講演・セミナーは、福島県にゆかりのある、各分野で著明な先生方にご講演をお願いいたしました。

当講座からは、関連病院を含め、10 題の一般演題が発表されました。

### 一日目

午前中は竹田総合病院 平岩 幹先生が中心となり、第 11 回東北産婦人科研修医会が開催されました。



一題目は、腹腔鏡手術の技術向上について各大学が行っていること

二題目は、各大学の産婦人科への勧誘方法についてのプレゼンテーションでした。

当講座鈴木聡先生、安田俊先生をオブザーバーとして、各大学活発な意見交換がされました。

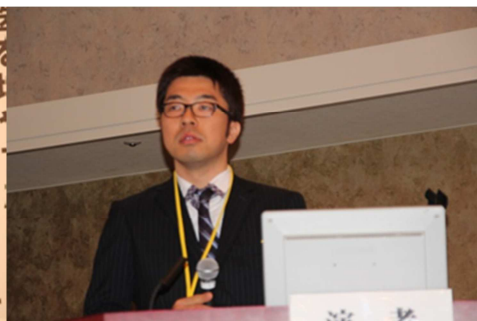


午後は宮城県立がんセンター 山田秀和先生(前福島県立医科大学産科婦人科学講座 准教授)による、教育セミナー 「卵巣癌手術のセオリーと問題点について」のご講演に始まり、



特別講演として、山下俊一先生(長崎大学副学長、福島県立医科大学副学長)による「福島原発事故と放射線健康リスク」、小西郁夫先生(日本産科婦人科学会理事長)による「若手産婦人科医を増やすための試み」の貴重なお話をいただきました。

一般演題は、太田西ノ内病院 伊藤舞先生、会津中央病院 大和田 亜矢先生、菅野潔先生、古川茂宜先生、鈴木聡先生の発表を行いました。





一日目終了後には同ホテルにて総懇親会を開催しました。

ドレスコードはクールビズでリラックスした雰囲気の中、武市和之学会長の乾杯の挨拶にて会が開始しました。

来賓には、佐藤雄平福島知事、小林 香福島市長、 福島県医師会長に御参加いただき、福島県の復興、福島県の周産期医療の充実についての熱いご意見をいただきました。



余興ではフラガールご登場し、会場をさらに盛り上げていただきました。



会場には、B1 グランプリ優勝のなみえ焼きそばや、福島牛、喜多方ラーメン、地酒などが並び、他県の先生方にも大変好評でした。



会の終盤には東日本大震災復興ソング「花は咲く」を全員で合唱し、会場が一つになりました。

締め挨拶を当講座 藤森敬也教授よりいただき、大盛況のうちに会が終了となりました。



二日目(6/15 日曜日)は

一般演題 小島学先生、菅沼亮太先生、大原美希先生、野村真司先生、竹田綜合病院 平岩幹先生、寿泉堂綜合病院 田中昌代先生が発表されました。野村泰久先生が座長を務め

られました。教育セミナーでは国際医療福祉大学大学院 柳田 薫教授(前福島医大産科婦人科学講座 助教授)が「ICSI の現状と今後」について御講演されました。



二日間、武市和之会長を中心に医局員一丸となって、会を終了することができました。  
ご協力いただいた、諸先輩方、福島県産婦人科医会のみなさま、コンベンションセンター  
のみなさまに厚く御礼申し上げます。

